

令和7年度 企画展

ガラス乾板展 写真撮るたのしみ



したまちミュージアム収蔵のガラス乾板と写真を公開！

ガラス乾板の登場は写真の世界に大きな変化をもたらしました。写真撮影に特別な技術の必要がなくなり、またカメラの持ち運びが容易になったことで、多くのアマチュアカメラマンが誕生したのです。写真は「仕事」だけではなく、「趣味」や「たしなみ」の側面も持つようになりました。そこで撮影されたのは、旅先や街角の風景、カメラマンの興味関心を引いたもの、気軽に私的な家族の姿、そしてブレや失敗から、なんとも言えない味わいを持つ写真でした。

本展では、写真撮影が大衆化の一步をあゆむきっかけとなったガラス乾板と、アマチュアカメラマンたちによる写真をご紹介します。

開催概要

展覧会名: ガラス乾板展 写真撮るたのしみ

開催会期: 2026年3月3日(火)～6月28日(日)

開館時間: 午前9時30分～午後4時30分(※入館は午後4時まで)

休館日: 月曜日(祝休日と重なる場合は翌平日) ※5/3(日)～5/6(水)は開館し、5/7(木)休館

入館料: 一般300円(200円)、小・中・高校生100円(50円) ※()内は20名以上の団体料金

会場: したまちミュージアム 3階企画展示室(東京都台東区上野公園2-1)

問合せ先: 担当 したまちミュージアム 近藤(こんどう) ☎ 03-5846-8426

URL: <https://www.taitogeibun.net/shitamachi/>

みどころ

1. たくさん見せます！

令和 4 年度にデータ化したガラス乾板およそ 1000 点のうち、これまで公開していない写真の数々をプロジェクターを使ってご紹介します。

2. ガラス乾板の実物、どんなふうに見える？

ライトボックスを使って、実際にガラス乾板資料をご覧ください。

3. 貴重な文献も展示します

初めて写真を撮るアマチュアカメラマンに向けた実践テキストも大公開。大正時代に刊行された写真撮影術の雑誌を展示します。

イベント

1. ギャラリートーク

担当学芸員が展示資料や見どころを解説します。

会期中第 2・第 4 土曜日 午後 2 時から(30 分程度) ※入館料が必要です

2. 「なんでこんな写真撮ったんだっけ？」選手権(仮)

スマートフォンの中にある「なんでこんな写真撮ったんだっけ？」という一枚にハッシュタグをつけて、Instagram に投稿しませんか？優秀作品には当館オリジナルグッズをプレゼントいたします。

(応募概要は当館ホームページをご覧ください)

展示資料(一部)



1



2



3



4



5



6



7



8

1. 百貨店屋上の様子 大正末～昭和初期 2. 上野公園から広小路方面 昭和初期 3. 浅草凌雲閣跡 大正 12 年(1923)
4. ピクニックでの記念撮影 年代不明 5. アンソニー型スタジオカメラ 大正時代 6. ガラス乾板の箱 昭和初期 7. ガラス乾板 ベンチで休む女性と子ども 昭和初期 8. 展覧会チラシ